

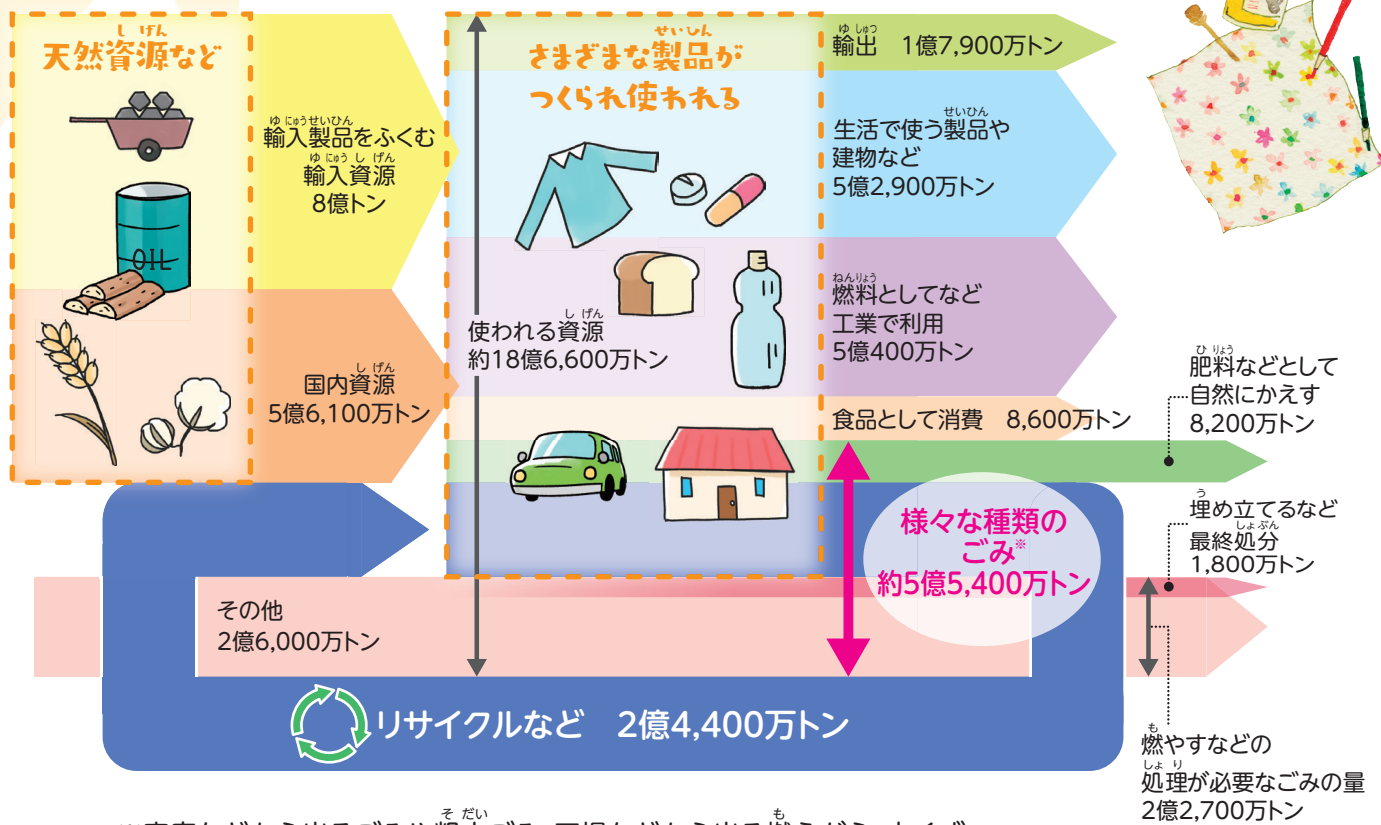


ごみに関する問題って何だ

世界の人口が増えていくとともに、地球上で出るごみの量は、これからも増え続けていくと予想され、環境問題となっています。それでは、わたしたちが暮らす日本では、ごみに関して、どんな問題が起きているのでしょうか。また、どのくらいの資源が使われて、どんな種類のごみが出ているのか、調べてみましょう。

日本で使われる資源が ごみになる量はどのくらい？

日本の資源の流れ (平成24年度)



※家庭などから出るごみや粗大ごみ、工場などから出る燃えがら、木くず、金属くずなど、そのままでは使えず、不要になったものすべて

資料：環境省「我が国における物質フロー」(平成24年度)より環境省作成

日本で、1年間に使われる資源の量は、約18億6,600万トンです。そのうち、約3分の1となる約5億5,400万トンは、様々な種類のごみとなります。処理しなければならない、これらのごみのうち、約半分は再び資源として再利用されたり、自然にかえされたりしていますが、残りは燃やすなどの処理がなされた後に、埋め立てるなどの方法で最終処分されています。